



今とのつながりを探す

国際関係と
近代 1

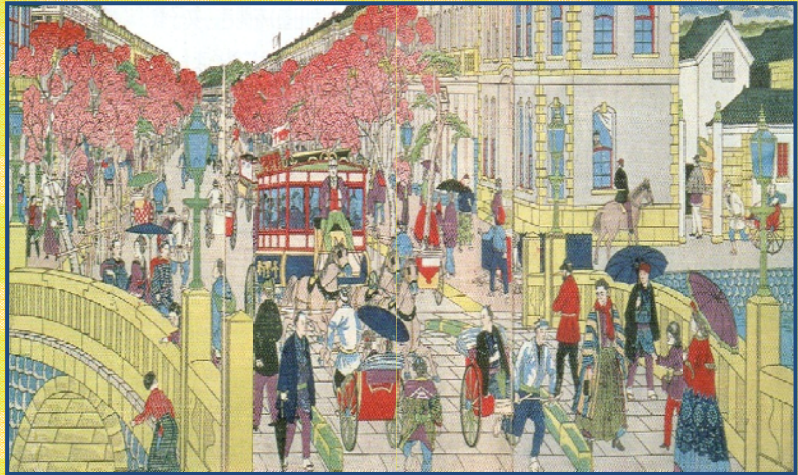
明治の銀座にタイムスリップ

→ 学習課題

- 1870年から80年にかけての銀座の雰囲気想像しよう。

私のイメージ

→ 歴史に迫るスナップショット



▲銀座のれんが街(1874年)



上の絵を見てよ！明治時代始めの銀座の様子をかいた錦絵だ。華やかな感じが伝わってくるね。



そうですね。でもスカートをはいている人もいるし、橋のたもとには街灯が立っているね。今と雰囲気が似ているなあ。



そうですね。橋のたもとに立つ街灯はガス灯と呼ばれるものです。ガス灯やレンガ造りの建物、スカートなどの洋服は、明治時代になって広まったものですよ。

外国の新しい技術やライフスタイルが、当時の人々の暮らしに深く入り込んでいったのね。



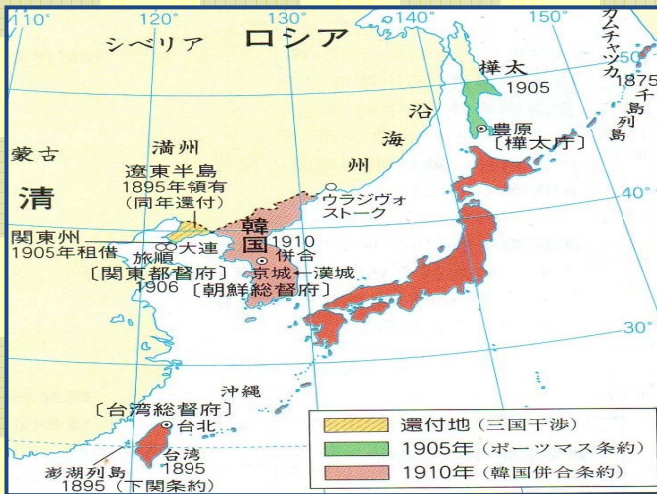
新橋				横浜			
上り				下り			
発	行	回	運賃	回	行	発	運賃
8時	8時	1	2.00	8時	8時	1	2.00
8時	8時	2	2.00	8時	8時	2	2.00
8時	8時	3	2.00	8時	8時	3	2.00
8時	8時	4	2.00	8時	8時	4	2.00
8時	8時	5	2.00	8時	8時	5	2.00
8時	8時	6	2.00	8時	8時	6	2.00
8時	8時	7	2.00	8時	8時	7	2.00
8時	8時	8	2.00	8時	8時	8	2.00
8時	8時	9	2.00	8時	8時	9	2.00
8時	8時	10	2.00	8時	8時	10	2.00
8時	8時	11	2.00	8時	8時	11	2.00
8時	8時	12	2.00	8時	8時	12	2.00
8時	8時	13	2.00	8時	8時	13	2.00
8時	8時	14	2.00	8時	8時	14	2.00
8時	8時	15	2.00	8時	8時	15	2.00
8時	8時	16	2.00	8時	8時	16	2.00
8時	8時	17	2.00	8時	8時	17	2.00
8時	8時	18	2.00	8時	8時	18	2.00
8時	8時	19	2.00	8時	8時	19	2.00
8時	8時	20	2.00	8時	8時	20	2.00
8時	8時	21	2.00	8時	8時	21	2.00
8時	8時	22	2.00	8時	8時	22	2.00
8時	8時	23	2.00	8時	8時	23	2.00
8時	8時	24	2.00	8時	8時	24	2.00
8時	8時	25	2.00	8時	8時	25	2.00
8時	8時	26	2.00	8時	8時	26	2.00
8時	8時	27	2.00	8時	8時	27	2.00
8時	8時	28	2.00	8時	8時	28	2.00
8時	8時	29	2.00	8時	8時	29	2.00
8時	8時	30	2.00	8時	8時	30	2.00
8時	8時	31	2.00	8時	8時	31	2.00

▲新橋-横浜間の時刻表と運賃表(1884年)

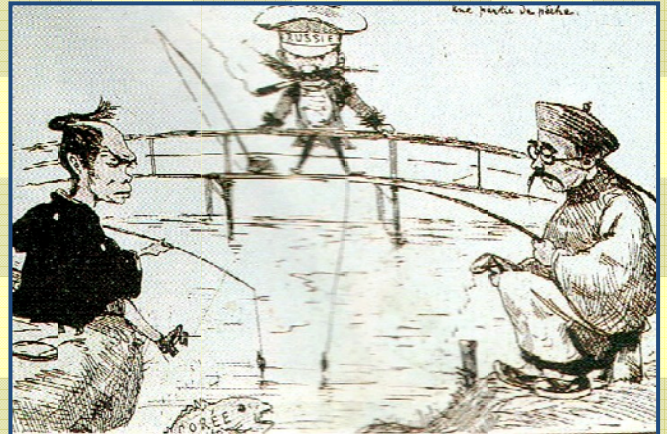
その過程で新しい習慣や感覚も広まったんだろうなあ。汽車の時刻表には発車時刻が1分単位で書いてあるね。当時の人には、新しい「時間感覚」だったんじゃないかな



▼日本の領土の変化



▼日清戦争直前の国際関係の風刺画



今と当時では、日本の領土の範囲が違うね。左の地図と右の絵の関係を整理してみよう。



1880年代

1900年代

▼ノルマントン号事件の風刺画



▼日本軍の攻撃を受けるロシア艦



1850年代



当時の「船」と「衣装」が描かれた写真や絵を集めてみました。3枚の写真や絵から読み取れることと、当時の状況を書き出し、それらを関連付けて、国際関係の変化を説明する文章を作りましょう。

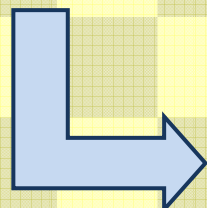
1880年代

1900年代

▲黒船にそなえる武士たち

▼鹿鳴館で踊る人々

▼韓国皇太子と伊藤博文





国際関係と近代2

明治以降の国際関係について知ろう

→ 学習課題

- 日本は、欧米諸国やアジア諸国とどのような関係をつくらうとしたのだろうか？

私の予想

→ 時代の見取り図

時代	世紀
江戸	19
明治	
大正	20
昭和	
平成	
	21

- ・1853 ペリー来航 ……①
- ・1858 日米修好通商条約 ……②
- ・1871 岩倉使節団派遣 ……③
- ・1875 江華島事件 ……④
- ・1894 日英通商航海条約 ……⑤
- ・1894 日清戦争勃発 ……⑥
- ・1902 日英同盟 ……⑦
- ・1904 日露戦争勃発 ……⑧
- ・1907 ハーグ密使事件 ……⑨
- ・1910 韓国併合条約 ……⑩
- ・1911 関税自主権の回復 ……⑪

▲日本の国際関係に関する出来事

A 日本と欧米諸国との関係



▲岩倉使節団



洋装の人と和服の人がいるね。どうしてかしら。

1858年、日本はアメリカを皮切りに欧米諸国と外交関係を結びます。しかし、領事裁判権を認めている点、関税自主権を持たない点で不利な立場におかれていました。

そこで明治政府は、不平等条約の改正において、日本の近代化をはかりました。たとえば岩倉使節団は、欧米諸国を訪ね、条約改正の準備と政治・産業・文化の視察を行いました。1885年には大日本帝国憲法を發布するとともに、国内法の整備も進めました。

日清戦争に日本が勝利すると、欧米諸国は日本の軍事力を無視できなくなります。ロシアのアジア進出に危機感をいだいていたイギリスと日本は同盟を結び、ロシアをけん制しました。日本は日露戦争でも優位に戦いを収め、1911年、不平等条約の完全撤廃に成功しました。

B 日本とアジア諸国との関係



▲義和団事件

日本は、東アジアの周辺諸国に対しては、相手に不利な条約の締結を要求していきました。1875年には江華島事件を起こし、武力を背景に日朝修好条規を結んで、朝鮮を開国させました。また日清・日露戦争の結果、台湾や関東州・樺太などを支配するとともに、朝鮮半島への影響力を拡大していきました。

1910年、日本は韓国併合条約を結び、朝鮮を事実上の植民地とします。第一次世界大戦でドイツが破れると、南洋諸島は日本の委任統治領となりました。



▼日米修好通商条約のポイント

第4条【協定関税制】すべて国内に輸出入の品物は、別冊の通り、日本の役所に関税を納めること。
 (→日本の関税を自主的に決定する権限をうばう条文)

第6条【領事裁判権(治外法権)】
 日本人に対して法を犯したアメリカ人は、アメリカの法律によって罰すること。アメリカ人に対して法を犯した日本人については、日本の役人が取り調べ、日本の法律で罰すること。

・第22条 大ブリテン国が日本帝国に於て執行したる裁判権及び該権に属し、又は其の一部として大ブリテン国臣民が享有せし所の特典、特権及び免除は本条約実施の日より別に通知をなさず全然消滅に帰したるものとす。
 ・而して此等の裁判管轄権は、本条約実施後に於ては日本帝国裁判所に於て之を執行すべし。

▲日英通商航海条約のポイント

▼王宮の前に建てられた朝鮮総督府



こんな荘厳な建物を、どんな意図で、この場所に建てたのかな？

「日英間に対等条約が成立したことは、日本の国際的地位を向上させる点で、清国において何万の軍隊を破ったことよりも重要だろう」
 イギリス外相キンバレー

▲日英通商航海条約についての証言

・清国の宗主権(ある国の内政・外交を管理し決定する権力)を否定する
 ・釜山・元山・仁川の三港を開港せる
 ・領事裁判権、関税の免除を朝鮮に認めさせる

▲日朝修好条規のポイント

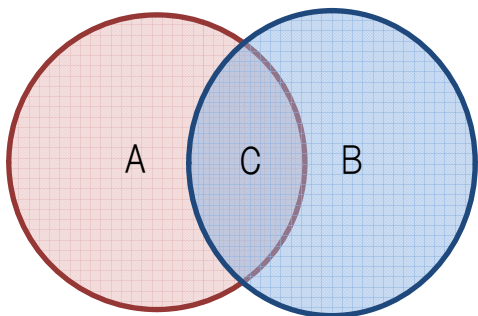
I 用語の意味を調べよう

- 次の用語の意味を調べよう。
 日米修好通商条約, 日朝修好条規, 日英通商航海条約, 義和団事件, 日英同盟, 韓国併合

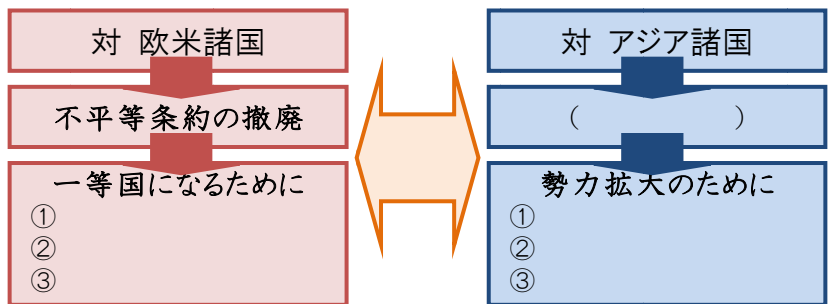
II 事実を比較・分類しよう

- 年表中の①～⑪の出来事を下の3つのグループに分けて、左の図に番号を書きこみましょう。

Aグループ	日本と欧米諸国との関係
Bグループ	日本とアジア諸国との関係
Cグループ	日本と欧米, アジア諸国, 双方との関係



- 日本は、欧米やアジア諸国との間でどのような交渉してきたのだろう。下の図を完成させて、比較しよう。



III 事実の理由を説明しよう

- イギリスは、なぜ 1894 年に治外法権の撤廃を認めたのだろう。なぜ関税自主権の回復は認めなかったのだろう。できるだけたくさんの理由をあげて、説明してみよう。





国際関係と近代3

国際関係から近代の特色を捉えよう

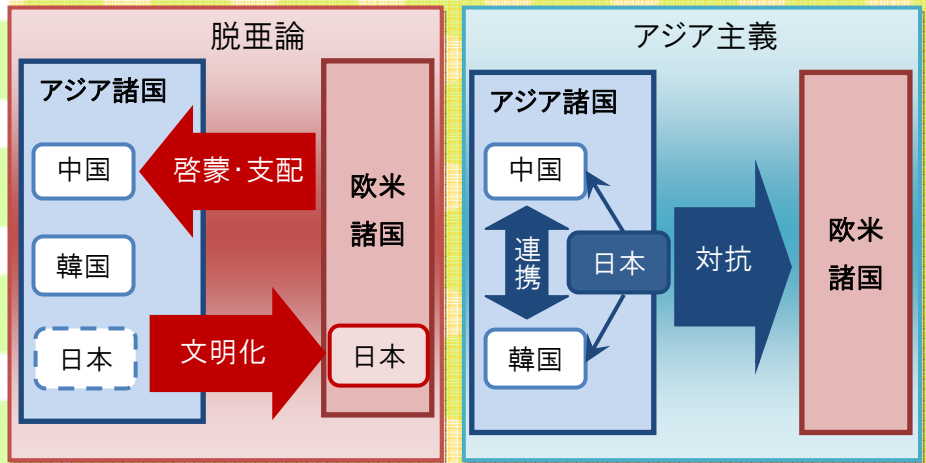
→ 学習課題

- 日本はどのような考え方にもとづいて東アジアを侵略したのだろうか？

私の結論

--	--

→ 時代を捉えるモデル



▲脱亜論とアジア主義の思想



脱亜論



▲『時事新報』

日本は、開国以降、欧米諸国の軍事的な脅威にさらされてきました。また不平等条約のもと、国際社会から正当な扱いを受けていないとの不満をいだいてきました。

このような状況から抜け出すには、中国の伝統的な制度・秩序を見なおし、法や産業・文化など様々な分野で西洋の様式を取り入れるべきという考え方が登場します。たとえば、福沢諭吉は、欧米諸国と同じように中国や朝鮮に接し、アジアの国々に新しい知識を広めていくことを主張しました。このようにアジアとの関係を見直し、日本の態度や行動を欧米諸国の考え方に近づけていこうとする考え方を、脱亜論といいます。



アジア主義



▲ 大東亜会議の出席者

いっぽう西洋の脅威に対して、(日本を含む)アジアの人々が手を組んで対抗していこうとする考え方も登場しました。これを、アジア主義といいます。たとえば、樽井藤吉は、日本と朝鮮・中国がまとまって1つの国をつくることを主張しました。大井憲太郎は、日本の指導のもと、朝鮮や中国の文明化を後押しすべきことを主張しました。このような考え方は、はじめは受け入れられず弾圧されますが、後の大東亜共栄圏の構想で復活してきます。

脱亜論とアジア主義は、立場こそやや異なりますが、日本のアジア諸国への侵略を正当化する点では、共通した考え方を持っていました。



出席者は、どこの誰だろう。どんな思いで出席したのだろう。



▼樽井藤吉の『大東合邦論』

- ・本論の主旨は日韓両国をして一合邦たらしむるにあり。
 - ・わが黄人にして勝たずんば白人の餌食とならん。しかしてこれに勝つての道は、同種人の一致団結の勢力を養うにあるのみ。
 - ・よろしくアジア同種の友国を合して、異人種と相競争すべきなり。合同を要するもの、何ぞ日韓に止まらんや。余これを朝鮮に望み、清国に望まざるは故なきに非ず。
- ※合邦：複数の国が一つの国を作ること

▼大東亜共栄圏の宣伝ビラ



気球に乗っている人、気球から追い出されている人は、何を意味しているのかな。

▼大阪事件の裁判における大井憲太郎の主張

- ・朝鮮人もまた父母兄弟なり。…中略…しかして、朝鮮の風俗は野蛮極まる阿弗利加人の如く、…中略…我々はここに至て之を助くるの念を生じたもの者なり。
- ・彼れ(朝鮮)に対して戦を開く者なれども、我々は国を取るものにあらざして彼れの国を強めてヤル者なり。即ち。我々は日本人なれども身を朝鮮人の位地におきその国力を増す者なり。

▼福沢諭吉の脱亜論『時事新報』明治18年3月

- ・我日本の国土は亜細亜の東辺に在りといえども、その国民の精神はすでに亜細亜の固陋を脱して、西洋の文明に移りたり。
 - ・今日の謀を為すに、我国は隣国の開明を待て共に亜細亜を興すの猶予あるべからず、むしろ其伍を脱して西洋の文明国と進退を共にし、其支那朝鮮に接するの法も、隣国なるが故にとて特別の会釈に及ばず、正に西洋人が之に接するの風に從て処分すべきのみ。
- ※固陋：頑固で見識の狭いこと ※会釈：思いやり

I 用語の意味を調べよう

1. 次の用語の意味や人名を調べよう。
近代化, 脱亜論, アジア主義, 文明化, 福沢諭吉, 樽井藤吉, 大東亜共栄圏

II 事実の関係を組み立てよう

2. 福沢諭吉・樽井藤吉・大井憲太郎が、韓国併合の是非について問われたら、どのように答えるだろうか。それぞれの人物の立場から、発言を予想してみよう。



①どの時期に、②どの考え方が広まったのか、③それはなぜか、考えてみましょう。



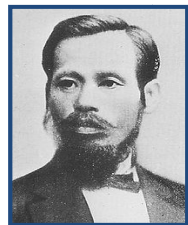
▲福沢諭吉

韓国併合には()だ。なぜなら、

だから。



▲樽井藤吉



▲大井憲太郎

韓国併合には()だ。なぜなら、

だから。

III 当時の時代像を描き出そう

3. ①義和団事件(1900年)への対応, ②満州国の建設(1932年), ③大東亜共栄圏の提唱(1943年)は、どのような考え方の影響を受けているだろうか。
4. 脱亜論またはアジア主義の主張を取り上げ、当時の新聞記者の視点から記事を書こう。

